保護者向け

生活支援サービスのぞみ

【防災マニュアル】

【感染症対応マニュアル】

目次

はじめに

地震が起きたら【のぞみ内にいた場合】

地震が起きたら【外出先の場合】

地震が起きたら【送迎中の場合】

火災が起こったら【のぞみが火元の場合】

火災が起こったら【周辺での火事の場合】

台風や大雪・水害について【前日から予測が出来るもの】

台風や大雪・水害について【利用後に天候が悪化する場合】

車両が故障してしまったら

交通事故にあったら

行方不明（捜索することになったら）

感染症について

【別紙】
各感染症対応について

引き渡しカード

ハザードマップ（深谷）（熊谷）

はじめに

　今回このような形で保護者用のマニュアル配布を行おうとしたのは、今後実際に起きた時に、事業所としてどのような対応を取ってくれるのか知りたいご家庭が多いと感じていたからです。以前から事業所としての『防災マニュアル』や『大規模災害時における法人施設支援体制について』など分厚いファイルがありました。
しかしそれを保護者に配布しても困ってしまうと思い、改めて保護者向けの防災マニュアルを作成し、保護者に安心感や実際に起きた時に、のぞみとしてどのような行動を取るのかわかって貰い、保護者の方にも落ち着いて行動をとって貰うべく用意しました。

あくまでも想定として作りましたので、実際に想定以上のことが起きてしまうとマニュアル通りに行動が出来ない恐れもあるのでご了承下さい。どのようにお子さんを安全に引き渡せることが出来るかまでを考えています。

地震が起きたら・・・

＜①のぞみ内にいた場合＞

地震発生

窓や物が落ちてくる場所から離れ、机の下などに入り、
頭を守り地震が収まるまで待機する。

地震が
収まる

- 駐車場へ避難誘導係（点呼確認）
- 怪我人の確認・救護係
- 被害状況の確認係

当日のスタッフで
担当を割り振ります

大規模災害

建物の安全が確認できない時
（倒壊の恐れがある場合）

●避難所への徒歩で移動を開始

第１避難場所候補：川本北小学校
のぞみから約 1.6 ㎞

第２避難場所候補：三尻小学校
のぞみから約 2.0 ㎞

※第２避難場所の理由
踏切が開かない場合なども想定
その場合変更予定

●避難所に到着する
・点呼をとる　・体調の確認

建物の安全が確認できた時

●のぞみ内で待機する

保護者より
お迎えに行く連絡が
入った場合

●安全に引き渡す

その後何事も無い

●通常日課を行う

道路の陥没などですぐに保護者が来れない場合

●防災食等を検討しつつのぞみで待機

保護者へ安否確認を伝える方法
・HP のブログにて利用している方の安否確認・避難場所を伝える
（ただしネットも繋がりにくい恐れあり）
・その他の SNS（LINE や Twitter など）も現在検討中

引き渡し方法
保護者と連絡が取れ、お迎えに来ていただく場合、保護者が被災し親族がお迎えに来ることも想定し引き渡しカードを作成し記入してもらい引き渡すこととする

地震が起きたら・・・

＜②外出先（公園）にいた場合＞

地震発生

窓や物が落ちてくる場所から離れ、しゃがみ込み頭を守り地震が収まるまで待機する。

地震が収まる

・その場で点呼確認し、怪我人の確認、必要に応じ救護する

大規模災害

近くの避難所を確認しそこに向かう

●避難所へ徒歩で移動を開始

※避難所が公園となっている場合無理して移動せず待機

●避難所に到着する

・点呼をとる　・体調の確認

安全を確認できた場合

●周辺に気を付け、車でのぞみに戻る

保護者よりお迎えに行く連絡が入った場合

●安全に引き渡す

その後何事も無い

●通常日課を行う

保護者へ安否確認／現在の避難場所を伝える方法

・HP のブログにて利用している方の安否確認・避難場所を伝える
（ただしネットも繋がりにくい恐れあり）

・その他の SNS（LINE や Twitter など）も現在検討中

引き渡し方法

保護者と連絡が取れ、お迎えに来ていただく場合、保護者が被災し親族がお迎えに来ることも想定して引き渡しカードを作成し記入してもらってから引き渡すこととする

地震が起きたら・・・

＜③送迎中の場合＞

地震発生

・できるだけ安全な方法で道路の左側に停止させる。

地震が
収まる

・カーラジオ等により地震情報や交通状況を聞き、
その情報や周囲の状況に合わせ行動する

大規模災害

●引き続き車を運転しての避難
➡ 道路の損壊や信号機の作動停止、
道路上の障害物に十分注意すること

●やむを得ず車を置いての避難
➡ 出来るだけ道路の外の場所に停め、
エンジンを止め、エンジンキーは
わかりやすいところに置いて避難する

●周辺に気を付け運転の再開

（迎え時）	（送り時）
事業所に連れてくる	ご自宅に送り届ける

●避難所へ徒歩で移動を開始
※避難所が公園となっている場合無理して移動せず待機

●避難所に到着する
・点呼をとる　・体調の確認

※のぞみに現在の状況を連絡する
連絡手段はいとわない

保護者へ安否確認／現在の避難場所を伝える方法
・HP のブログにて利用している方の安否確認・避難場所を伝える
（ただしネットも繋がりにくい恐れあり）
・その他の SNS（Twitter など）も現在検討中

引き渡し方法
保護者と連絡が取れ、お迎えに来ていただく場合、保護者が被災し親族がお迎えに来ることも想定して
引き渡しカードを作成し記入してもらってから引き渡すこととする

火災が起きたら・・・

のぞみが火元になってしまった場合

火災発見

・こども達を駐車場へと避難誘導する
・消防署（119）に連絡を入れる
・可能なら消火器で初期消火をする

① 子どもたちを安全な場所に集め、建物の外へ誘導する。
② なるべく濡れたハンカチなどで鼻と口を押さえ、低い姿勢で移動しながら、子どもを静かに早足で外に避難させる
③ 延焼を防ぐために、ドアや窓はできるだけ閉める
④ 消防署に通報する
⑤ 可能なら消火器による初期消火をする

当日のスタッフで担当を割り振ります
・避難誘導係　・通報係　・救護係　・消火係

消火後

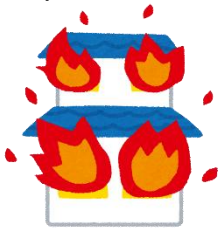
建屋の確認を行い通常営業の再開の有無の確認を行う。

安全面の確認が取れた場合
建屋の中に戻り通常営業を行う。

安全面の確認が取れない場合、
順次保護者に連絡しお迎えに来ていただく

のぞみの周辺で火事が起こった場合

火災発見



・火災の正確な情報の確認を行う
・のぞみの周辺の様子の確認をする
・状況に応じて消火器で初期消火をする

① 地域の連携先（ご近所）などと連絡をとり合って、正確な情報をつかむ
② 状況に応じて、子どもたちを安全な場所に集め、建物の外へ誘導する
③ 風向き、火災の規模、周辺の危険な場所（工場・ガソリンスタンドなど）の有無を確認し、子どもを安全な場所に避難させる（状況を見て車・徒歩）
④ 背丈よりも火が高く上がってしまったら初期消火をあきらめ、身の安全を優先する

消火後

建屋の確認を行い通常営業の再開の有無の確認を行う。

安全面の確認が取れた場合
建屋の中に戻り通常営業を行う。

安全面の確認が取れない場合、
順次保護者に連絡しお迎えに来ていただく

台風や大雪・水害について

＜前日から予測が出来る場合＞

●台風　／　大雪

当日の時間帯に暴風域に入っているか
積雪量や凍結などの確認

↓　上長と相談　↓

◎営業時間を遅らせるか

◎送迎を行わずに通常営業するか

↓

明日利用する方は電話で検討結果を保護者に連絡する。
※繋がらない場合、当日再度連絡を入れる
また利用するか保護者の判断に委ねる

※ただし当日スタッフが出勤出来なかった場合など、対応の変化有

大雨時の送迎者

ハザードマップを確認し田んぼ道や冠水しやすい道を避け安全に送迎を行う。

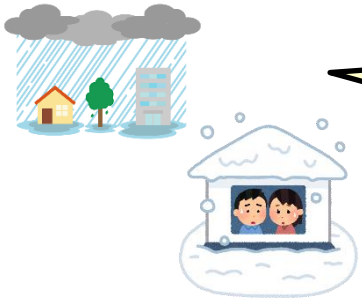
大雪後の送迎者

凍結に気を付け狭い道などを避け、なるべく大きな通りから安全に送迎を行う
送迎前にスコップなどを車に詰んで出発する

台風や大雪・水害について

＜利用後に天候が悪化する場合＞

ゲリラ豪雨／雪



天気情報を確認しその都度対応を検討する

◎帰りの送迎を早くするか／遅らせるか

◎お迎えに来てもらうか

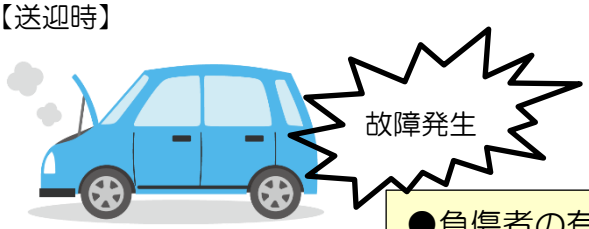
大幅に予定の変更が生じた場合保護者に連絡する
※こども達の安全を第一に考える
※勤務後のスタッフが安全に帰路に着くことも考慮する

場合によっては保護者がすぐにお迎えに来ることができないなどが生じた場合

お菓子や備蓄の食料を提供することも想定しておく

車両が故障してしまったら・・・

【送迎時】



●負傷者の有無の確認
●外傷がある場合救急車を呼ぶ【119 番】
●交通の妨げになっていたら、道路の脇や安全なスペースに移動
●事業所に連絡状況を伝える。
●送迎が遅れる場合は保護者に連絡を入れる。
●バッテリーの場合などはブースター持って応援に行く
●応援に来たスタッフの車に乗り換え送迎を行う。
●所長に報告をする。
●車両のガソリンスタンドのカード内にある保険会社で対応する。

【外出時日中】

●負傷者の有無の確認
●外傷がある場合救急車を呼ぶ【119 番】
●交通の妨げになっていたら、道路の脇や安全なスペースに移動
●事業所に連絡状況を伝える。
●送迎が遅れる場合は保護者に連絡を入れる。
●バッテリーの場合などはブースター持って応援に行く
●高橋自動車に連絡をする。持っていければ持っていく。
●所長に報告をする。
●車両のガソリンスタンドのカード内にある保険会社で対応する。

交通事故にあったら・・・

※車両の中の運行記録簿の中に『事故が起きたら！』のマニュアルにそって行う

事故発生

●負傷者の有無の確認
●外傷が無くても救急車を呼ぶ【119 番】
●交通の妨げになっていたら、道路の脇や安全なスペースに移動
●警察に連絡（状況を伝える）
●相手の身元確認
　免許証や名刺など相手の身元の確認を行う

救急車
到着

【第一報】のぞみ・保護者に連絡を入れ現在の状況を説明する
※実績記録表もしくは医務バックに入っている
保護者の電話番号を確認して連絡

【続報】のぞみ・保護者に緊急搬送先をお伝えする
※のぞみの職員もしくは上長もしくは管理者は搬送先に直行する

病院
到着

保護者と合流して事故の様子を再度報告する

行方不明について（捜索することになったら）

利用者がいない

利用前

- ●（学校の引き渡し時）先生に確認
  学校を欠席し保護者がキャンセルの連絡し忘れの可能性の確認
- ●（休日日課）欠席の連絡確認
  10：00 までに連絡が無い場合、保護者に電話をして確認を取る。

利用後

出欠の確認	
点呼確認	【平日日課】利用者の点呼での有無の確認 ・のぞみでの受け入れ時の検温（15：15～15：45頃） ・帰りの検温（17：00 頃）
	【休日日課】利用者の点呼での有無の確認 ・のぞみでの受け入れ時の検温（8：30～9：30 頃） ・外出時の運行記録簿での確認（10：00～12：00） ・昼食前後の検温（12：00～13：00） ・帰りの検温（15：00 頃）

外出先

① 外出先周辺の捜索
② 既存のこどもを車両に乗せる（支援班）
③ 保護者へ連絡
④ 警察署へ連絡
⑤ 市町村担当課へ連絡
⑥ 管理者に電話で報告（応援を呼ぶ）

事業所

① 事業所内の捜索
② 点呼確認をした際に最後に確認した時間の確認
③ 防犯カメラで映像の確認
④ 事業所周辺の捜索班と既存のこども達の支援班に分かれる。
⑤ 保護者へ連絡
⑥ 警察署へ連絡
⑦ 市町村担当課へ連絡
⑧ 管理者に電話で報告（応援を呼ぶ）

発見！！

① 怪我の確認
② 保護者へ連絡
③ 警察署・市町村担当課へ連絡
④ 管理者に電話で報告（応援を呼ぶ）
⑤ 引き渡し時、保護者に謝罪する

スタッフ間で情報共有
・保護者への対応確認
・内容によっては県の地域支援課に事故報告を提出

感染症について

※各感染症対応については別紙を参照ください

例：ノロウイルスなど

自宅やのぞみにて、嘔吐や下痢などがあり、通院後ノロウイルスと診断を受ける。

↓

のぞみに連絡する

※学校に欠席の連絡を入れるだけでなくのぞみにも連絡お願いします!!

体調が悪い場合お迎えに来てもらうよう連絡をします。

管理者に報告し
スタッフ間で情報共有
他児童の体調確認を行う

基本的に感染症として保健所への届出は不要ですが…

集団発生の場合は、「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について（平成 17 年 2 月 22 日付 厚生労働省通知）」を参考にし、下記の報告基準を満たす場合は、速やかに保健所へ届け出ます。

・5 人以上感染者が出た場合
・重篤患者 2 名／週

保健所への連絡をします。

・5 人以下の感染者が場合

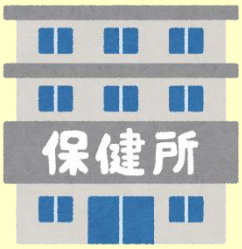
特に保健所等の連絡はしませんが、事業所内の消毒を行い感染予防に努めます。

《保健所へ報告する基準》

① 同一の感染症若しくは食中毒による又はそれらによると疑われる死亡者又は重篤患者が 1 週間内に 2 名以上発生した場合

② 同一の感染症若しくは食中毒の患者又はそれらが疑われる者が 10 名以上又は全利用者の半数以上発生した場合

③ ①及び②に該当しない場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合



事業所内で発生した場合には、速やかに保健所に届け、保健所の指示に従い消毒を徹底するとともに、保健所と連携して感染拡大防止のための対策を講じます。
必要に応じて事業所の休止等の検討を行い周知します。

※職員も複数罹患し営業上の安全を確保できない場合、閉所や規模の縮小を検討することがあります。